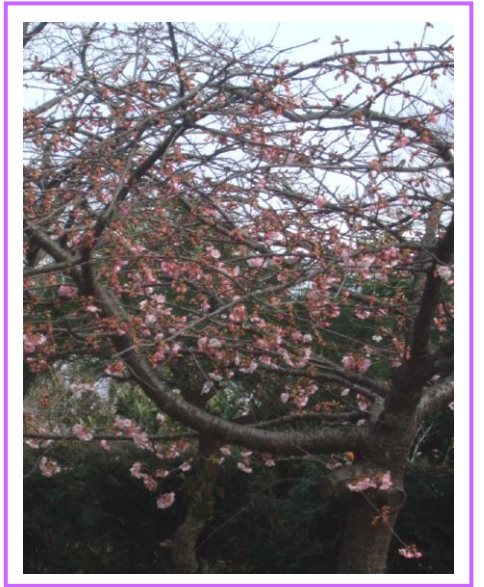


沙羅の樹文庫だより



沙羅の樹文庫 の 河津桜

文庫あれこれ◆雪が残っていました。文庫の河津桜が、咲きだしてました。小さな書庫(絵本の部屋)の建て増しが始まるので、風景が少し変わります。それで写真撮っちゃいました。楽しみと不安が混じります。◆もっぱら私的なことで恐縮ですが、この1ヶ月のあいだの数日、過去を振り返る旅と未知に惹かれる旅の2つを体験しました。◆ひとつは、10歳まで住んでいた前橋(群馬)に行ったこと：従兄の神社へ初詣の途中で、3女一家と寄ってみました。小1のとき徒歩遠足で行った双子山古墳、男の子たちと遠出した中島飛行場跡、4年の途中で通った小学校、悪いことをすると、あなたはドンブラッコと流れてきたのよと言われた広瀬川畔(萩原朔太郎の石碑があり、前橋文学館になっていました)の生家跡、幼稚園のときバス遠足で行った敷島公園…。4歳の孫と歩きました。忘れていた感慨でした。◆もうひとつは、現在息子が住んでいる台湾・高雄。大学時代の親友3人でゆったり3泊の旅。旧正月の最後で、まだ人々はお祭り気分、のんびり気分が抜けていないようでした。でも、日本より信仰心が強いようで、孔子廟、朱色に輝く寺社、何処へ行っても熱心にお祈りを捧げている人々は初詣のときだけお参りする日本人とは少し違うように感じました。それにつけても、今回の森林浴さんの書かれた劉暁波の本を読みたいと思いました。◆台湾ではもうひとつ、オートバイ通勤のものすごさを実感しました。オートバイ専用道路は、夕刻の帰宅時間になると無数のオートバイで壮観です。◆さて日本に思い

を戻すと、日本は今年、新燃岳の噴火に始まりました。今夕も大きな爆発があったようです。新聞のコラムによると、休火山というて休火山と習った覚えのある富士山も今は活火山

たと言ってます。大室山(単成火山だそうですが)も噴火するかも?!です。もう十分生きたからその時はその時、とN氏は言われますが。◆今日は暖かでした。それなのに、喉☆しゅんしゅんで花粉症かと思っていたら、どうも風邪のようです。明日、元気でみなさんにお会いできるように、お酒でも飲んで今夜は早寝することにしましょう。◆新しい絵本の部屋は5月から使えるようにしたいと考えています。(西村)

☆今年の催し物 (これから8月まで)☆

今年には文庫創立5周年ですので、特別に催し物やセミナーをいくつか持ちたいと考えています。

5月14日～22日 アートフェスティバル開館

★絵本で世界を巡る展 ほか

★若葉のころのおはなし会(子ども向け・大人向け)

♥ゲスト&おはなし沙羅の方々

★ゆったり聴こう日本の昔語り(東北の語り部による)

★講座<本・子ども・世界>—父母、教師、保育士、図書館員、読書ボランティアのための—

♥講師：広瀬恒子さん(親子読書地域文庫全国連絡会代表。子どもと本のコーディネータ)沙羅の樹に子どもの本をたくさん寄付していただいています。とてもわかりやすくお話していただきます。文庫のおかあさんたちに聞いてほしいです。目下、開館期間内で日時調整中♥ などなど…

7月17日夕

★海の日のおはなし会 ゲストを迎えて

7月18日 午前

★沙羅の樹文庫創立5周年記念

1. 子どものためのおはなし会
2. 親子でアニメーション 小学生以上希望者(予定)

8月16日～21日 夏休み開館

★調べ学習コンクール優秀作品に触れてみよう展

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆3月は通常、19日(土)、20日(日)開館

◆4月は通常、16日(土)、17日(日)開館

◆5月は上記、催物情報をご参照ください。

◆6月は通常、18日(土)、19日(日)開館

※文庫の時間：土曜日は午後2時～5時、日

曜日は午前10時～午後3時

※毎月開館日の日曜には、「子どものための

小さなおはなし会」があります。

午前10:30～11:00

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》

みんなで勉強会 (おはなし・沙羅)

毎月土曜日 11:00～

興味のある方、ぜひどうぞ!

連絡先：沙羅の樹文庫

電話 0557-51-3737

太陽にむかって
こころの底から
オハヨウと
太陽にむかって
いったことが
あるだろうか
こころの底から
アリガトウと
太陽にむかって
いったことが
あるだろうか

(小野ルミ詩)

『ぐるっと地球を

かかえちゃえ』
(岩崎書店)より

最近お借りした本についての読後感

2011年2月16日

By 森林浴

「現代中国知識人批判」劉曉波著 野沢俊敏訳 徳間書店

著者は言うまでもなく2010年度のノーベル平和賞の受賞者。この本は1992年に初版が出たもので、この中の論文は約20年前の天安門事件の1989年から1991年までに発表されたもの。今回のノーベル賞受賞に際し、改めて2010年11月に第三版として刊行されたものようだ。

これは中国の政治を批判することを直接の目的とした論文ではない。中国の体制・政治を徹底的に糾弾すべき中国の知識人の政府批判が如何に不徹底で、結果として彼らが体制に協力的になっていると鋭く批判した論文集。

私が特に注目した点は、孔子・孟子を中心とした、いわゆる中国歴史上の聖人・偉人の学説の徹底批判が疎かにされて、その結果として現独裁体制を認めることになっているという点。日本では孔子の「論語」や孟子・老子などの思想が常に尊敬の念を持って関心を集めているが、劉曉波は中国の伝統的な道教・儒教などの諸思想を徹底的な否定して、完全な西欧思想・制度の受容を主張する。ふと明治維新直後の日本のスローガン、「脱亜入欧」を想起した。20年後の今日も彼の主張は全く変化がないのだろうか、確かめてみたいものだ。

「文学フシギ帖—日本の文学百年を読む—」池内紀著

岩波新書

これは北海道新聞に掲載されたという53の短いエッセイ文の集成。

ちょっとした旅行にゆくとき持って行く本としては最高の楽しみになるだろう。といっても内容が軽いというわけではない。鷗外から村上春樹にいたる日本の代表的な文学者・その著書に関するなんとという気品に満ちた、鋭い人物評・書評であることか。なるほどこういう読み方があるのか、そんな背景があったのか、と驚かされて、またその本を読み直してみたくなる。この本で始めてその名を知った作家もいる。山田美妙と結婚したこともある山形県鶴岡の田澤稲舟、また詩人尾形亀之助。井伏鱒二と寺山修司の夫々微妙な先人の作品からの剽窃問題も決してギスギスしない暖かい理解で納めている。

世の中には立派な「読み手」がいるものだ。

「星のあいびき」丸谷才一著 集英社

芥川賞・谷崎潤一郎賞・読売文学賞・野間文芸賞・川端康成賞・大仏次郎賞・菊池寛賞・泉鏡花文学賞・朝日賞、——これは純文学の賞の一覧表ではない。丸谷才一の貰った文学賞の記録である。この人は恐るべき才人である、名前がピッタリの。

内容は、評論・書評・随筆・推薦および追悼・解説の5部に分かれているが、いろんな新聞や雑誌などに掲載された文章の集大成。才気煥発、博学知識、闊達自在、まことに恐るべき人である。

「抱擁」辻原登著 新潮社

巧い小説を書く人と記憶していてこの本を読んだが、私にはこの本はちょっと扱いかねる。

舞台は東京の駒場にある旧前田侯爵邸。今は公園になっていて昔何度か遊びに行ったこともあり、親近感もあるので期待して読んだが、古い大きな洋館に住み着いた亡霊が現われる筋というのは、私にはどうも合わないみたいだ。西洋には古い洋館の大邸宅を舞台とした怪奇小説は沢山あるみたいですが、まあ好みの問題なんでしょうね。

新しく入った大人の本

『漂砂のうたう』(木内昇著 集英社)※直木賞(11上半期)『苦役列車』(西村賢太著 新潮社)※芥川賞(11上半期)『きことわ』(朝吹真理子著 新潮社)※芥川賞(11上半期)『おしまいのデート』(瀬尾まいこ著 集英社)『抱擁、あるいはライスには塩』(江國香織著 集英社10)

『ある小さなスズメの記録』(クレア・キップス著 梨木香歩訳 文藝春秋10)

『随想』(蓮實重彦著 新潮社10)『月夜にランタン』(斎藤美奈子著 筑摩書房10)『雪の下の夢』(三木卓著 冬花社10)

『ゆたかな人生が始まるシンプルリスト』(ドミニク・ローホー著 講談社11)『学校ブックトック入門』(高桑弥須子著 教文館11)

『八日目の蟬』(角田光代著 中公文庫11)

『近代国家への模索 1894~1925』(川島真著 岩波新書11)『国家の命運』(藪中三十二著 新潮新書10)『怒らないこと』(アルボムッレ・スマナサーラ筆 サンガ新書06)

A Sick Day for Amos McGee(原書名)

『エイモスさんがかぜをひくと』(フィリップ・C・ステッド文 エリン・E・ステッド絵 青山南訳 光村教育図書)

毎朝時間どおりに起きて、パリッと仕事着に着かえて、朝食をしっかり食べて、仕事場の動物園にでかけていくエイモスさん。忙しいけれど仕事の合間に友達のところ立ち寄るエイモスさん。友達もエイモスさんが来るのを楽しみに待っている。



ふんわりしたやさしさとおもいやりが伝わってきて、さいごの絵は何とも言えない温かさ。寝る前に読んだら安眠できそう。

(Shino Yamamoto)

★アメリカで、一番よかった絵本に与えられるコルデコット賞今年度受賞作品です。

新しく入った子どもの本

『おきゃく、おことわり?』(ポニー・ベッカーぶん ケイディ・M・デントンえ 岩崎書店)『ほらふき男爵の冒険』(ビュルガー編 斉藤洋訳 偕成社)『さんねん峠—朝鮮の昔話—』(李錦玉作 岩崎書店)

以下絵本をたくさん寄贈いただきました。

『にらめっこ』『はいしゃさんにきたのはだれ?』『セミ神さまのお告げ』『シー・ラベンダー』『大森林の少年』『はじめてのかていほうもん』『こわ〜いはなし』『つれたつれた』『どんなにきみがすきだか あててごらん』『ずーっとずっとだいすきだよ』『熱気球』『だいじょうぶだよ、ゾウさん』『なぞなぞのたび』『いいね いいね』『ピンク、ぺっこん』『まつげの海のひこうせん』『ハンスのダンス』『かようびのよる』『ジョイバラー』くらべっこのじかん』『すき』『ぼくがげんきにしてあげる』『いるかの風』『ひよこ』

『ぼくの鳥の巣コレクション』『ヴェロキラプトル』『太陽 宇宙たんけんたい1』

ほか

♥広瀬さん、いつもありがとうございます♥